



# 歩行者検出インパクトタ

Pedestrian Detection Impactor 2 (PDI-2)

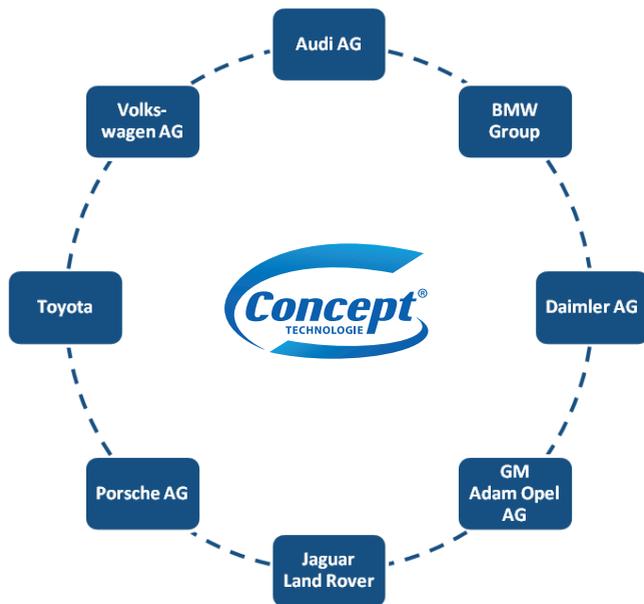
- ★ 新タイプの形状と物理特性
- ★ 新タイプの高耐久性の外被特性
- ★ 使用速度での最適化
- ★ 走行試験用に設計
- ★  MICROSYS 製汎用インパクトテスト装置に最適化



# Pedestrian Detection Impactor (PDI-2)

## インパクト

2世代目の歩行者検出インパクト (Pedestrian Detection Impactor2、PDI-2) は、ACEAグループと共同で開発されたものです。これは、歩行者の衝突を検出するセンサー開発試験、たとえば、歩行者を跳ね上げてボンネットに乗り上げた際、歩行者の安全を確保するために安全装置を起動させるセンサーの検出精度を確認するためのものです。PDI-2は、3種類の車両 (スポーツカー、セダン、SUV) に適用し、VRU安全規格に準拠して20 - 40 km/hの速度に対応しています。



歩行者検出インパクト (Pedestrian Detection Impactor2、PDI-2) は、ACEAグループと共同で開発されたものです。これは、歩行者が20 40 km/hで走行する自動車のフロント部と衝突の際の「めり込み」量や衝撃力、時間 - エネルギー特性を調べるもので、歩行者ダミー (Mayymo) やFE人体モデル (THUMS-D) を模擬したものです。

歩行者との衝突で車両が受けるめり込み量や衝撃力、時間 - エネルギー特性が迅速に求められることによって、中心負荷経路 (通常はバンパーの当たる部分) だけでなく下部及び上部領域の衝撃メカニズムが特定できるようになります。これは衝撃センサーを取り付けた際のセンサー起動の判断材料としても使用されています。

## インパクト 構成

PDI-2は、使い勝手を重視した簡便な構成部品から構成され、繰り返し行われる試験や55km/hの衝突試験にも十分に耐えられるように考慮されています。

PDI-2は、走行する実車両試に衝突する試験や、PDI-2を打ち出す双方の試験に対応しています。繰り返し試験に対して最小限の保守に耐えられるよう耐久性を考慮したものになっています。

### インパクト構成品:

- アウターフォーム (外被)
- 鉛入りスティール芯とカーボンチューブ
- ソケット
- 安全帯取付部



## 新しい特徴一覧

- 新しいタイプの形状と物理特性
- 新しい素材 - 高い耐久性
- 試験速度範囲への適応
- 簡便で容易な保守管理
- 軽量
- 耐湿度
- 温度領域:  $-30^{\circ}\text{C} \sim +70^{\circ}\text{C}$  ( $+100^{\circ}\text{C}$ )
- 設計試験速度領域: 20~40 km/h  
55km/hまでの試験に対応
- FEモデル提供 (LS-Dyna、Pam Crash、Abaqus、Radioss (V5以降))
- 走行試験、打ち出し試験に対応



## 技術仕様

### 芯棒 (Central tube):

鉛入りスティール芯とカーボンファイバコンポジット

### 寸法:

高さ (ソケット含):	1.000 mm
ソケット高さ:	25 mm
外被直径:	76 mm - 148 mm

### 特性:

全重量:	~6,75 kg
重心位置 (床面より):	654 mm



www.concept-tech.com  
office@concept-tech.com  
+43 (3124) 203-0  
+1 (905) 678-3288

コンセプト社製品日本総輸入代理店

IDTジャパン株式会社

〒135-0007 東京都江東区新大橋1-8-11  
三井生命新大橋ビル4F  
Tel: 036659-2681 Fax: 03-6659-2684  
URL: <http://www.idt-japan.co.jp>

